

横山幸次

区政報告
ニュース

565

2015年2月15日
発行 日本共産党区議団
3802-4627
fax 3806-9246
メール arajcp@tcn-cat
v.ne.jp
町屋相談室
荒川区町屋5-3-5
3895-0504
メール yoko1951@aol.jp

区民が暮らしの防波堤の役割を！ 区民の願いを質問や条例案で提案

今回の区議会は、安倍内閣の消費税増税などによる「増

税不況」、加えて年金削減など社会保障引き下げから区民の暮らしと営業をどう守つていかが最大の課題です。特

に、区民の暮らしの実態は、あらゆる面で厳しい状況におかれています（左上表参照）。

横山区議は、震災対策として防災と調和のとれたまちづくり、感震ブレーカーの設置補助、医療・福祉・介護のネットワークづくり等求めます。

また増加する子どもの貧困への対策は、横山区議が議会で初めて取り上げ、区としての対応を求めてきた課題です。今回は、18歳未満を対象に区内の子どもの貧困実態把握、教育費の負担を軽減、中高生の居場所づくりなど具体的に

事業諸調査と住宅リフォーム助成など仕事探しを求める声、区内の実態に即した質問を行ってもらいます。

横山区議は、質問

横山幸次区議が質問を行います。2月17日午後1時からです。傍聴は、区役所の5階にあります。傍聴券を発行してもらいます。

横山幸次区議のホームページ・ブログ・ツイッターをご覧下さい。横山幸次で検索して下さい。

裏面 横山区議の質問要綱、学童クラブ申し込み…など

定例法律相談会
3月2日(月)
午後6時～8時
横山区議事務所

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などを紹介します。

生活相談は、随時受け付けています。
TEL&FAX 3895-0504
不在時は、留守電へ、後で連絡します。
区役所控室 3802-4627

2/17 横山区議が本会議で質問 震災対策、子ども貧困、産業振興…

荒川区民の暮らしの実態…

	2014年12月	2009年1月	備考
生活保護受給者	6461人(3.1%)	4769人(2.39%)	45%増
小中学校就学援助	32.30%	32.90%	3人に1人
児童扶養手当(1人親)	2435人	2206人	10.3%増
保育園等利用者	4706人	3472人	35%増

区内の産業は…

	2012年	2006年	備考
区内事業所数	9708事業所	11906事業所	2198減
区内従業員数	79439人	87177人	7738減

共産党区議団の条例提案

介護保険料負担軽減条例

1～3段階の方の保険料実質ゼロへ生きがい奨励金支給条例…

70歳以上の年一回5000円支給

高齢者入浴事業実施条例…

ふろわり200の回数を週1回を2回に

学校給食費助成条例…

小中学校の給食費を無料に

小中学校入学準備金条例…

小中学校入学時の準備金支給

子ども医療費条例…

子ども医療費の無料化を18才に拡大

住宅リフォーム助成条例…

区内業者実施のリフォーム費用の20%

%に補助

学童クラブの運営に関する条例改正

学童クラブの時間を朝8時30分開始に以上8件の条例を提案、2月19、20日の委員会で審議されます。

また一つ地域から町工場が消えてしましたさて跡地はどうなる？震災対策の配慮も必要

まちの顛あれこれ

いま、私の住む地域の一角で、古くから操業していた町工場が廃業解体工事がはじまりました。既にすっかり建物は除去され、後は、整地するだけとなっていました。区内から製造業をはじめ次々と事業所が減っているのは寂しい限りです。これでどうやって地域経済の活性化をしていくのでしょうか。おりしも小規模企業振興基本法が成立。成長だけではなく維持発展の重要さがやっと認められました。問題は、具体的なケースが多いようです。そこでもう一つ、工場などとのまとまった跡地は、往々にしてマンションや建売住宅になります。「仮つゝて魂入れず」にならないように、がんばりました。同時に、工場などになるとまた跡地は、往々に住宅の場合、震災対策面での配慮がなく「利益最優先」になっ



ていなか心配です。私の家の「出口」にある敷地も目一杯建てるがれます。新たな開発行為では、やはり建物の間隔や避難路の確保なども考慮すべきと思うのですが。横山幸次



学童クラブの申し込み状況 そこから見えるもの…

**延長保育の全クラブ実施や開始時間8時半など
一刻も早い対応が求められます：**

新年度から学童保育クラブの入所は、4年生以上も対象になりました。また、「総合プラン」実施学童クラブでは、7時まで延長保育も行います。

現在の申し込み状況（下記）をお知らせします。

町屋地域では、延長保育は、総合プラン実施の四峡小、七峡小各学童クラブで実施、いずれも多くの延長希望があるようです。「にこにこすくーる」があつても延長保育があるので学童クラブを希望するケースもあるのではないかでしょうか。大門小学童クラブは、「にこにこすくーる」実施校といつともあります。延長の実施を行つた場合、保護者の対応がどう変わるのでしょう

保護者の要望に応え朝の開所時間改善も緊急に：
夏休みなどの「朝の開所時間も8時30分にしてほしい」という要望も出されています。区議会への学童保育クラブ連絡協議会からの陳情については、多数会派の賛成で採択しており、早期の実現を求めています。

子どもたちの放課後の時間を安全で豊かに過ごせるように増設や必要な対策を求めるとともに、時間延長も全クラブでの実施が急がれます。

か。

2015年度学童クラブ申し込み状況

	低学年	高学年	合計	延長申込
四峡小	75		75	14
五峡小	42		42	
七峡小	48	2	50	8
大門小	15	0	15	
南千住第1・第2	74	3	77	
南千住四丁目	61		61	
汐入	76	17	93	
二瑞小	64		64	13
汐入小	93	(3)	96	
二峡田小	40		40	
九峡田小	23		23	
花の木	42	8	50	
峡田	50	4	54	
三峡田小	22		22	
赤土小	58		58	
尾久	18	3	21	
東日暮里	31	6	37	
六日小	29	2	31	7
二日小	49	(1)	50	
西尾久	55	0	55	7

横山幸次区議の質問要綱

横山幸次区議が行う質問の要旨です。地域の実態や区民のみなさんの声をしっかりと区政に届けてがんばります。

1、震災対策について

防災と調和のとれたまちづくりを推進していくため、建売住宅も含めて開発にあたっては、周辺地域との安全面での調和を求めるとともに、建坪率を区内一律全域80%にしたままで良いのか検証すべき。



防災と調和のとれたまちづくりを進めるために路地状敷地への重層長屋建設を規制するなど安全性に問題のある開発行為を未然に防ぐ対応を行うこと。

区の建物耐震化率の目標90%達成期限まで後1年に迫ったがその進捗状況を問う。また町屋4丁目をはじめ危険度の高い地域では、非耐震住宅・アパートなどの戸数や分布などきめ細かい分析による実態にあった対策を行うこと。全区的な耐震化率達成のため耐震化工事90%助成を全区に拡大すること。

防災行政無線の戸別受信機設置やシステム全体の改善とその検討状況を明らかにすること。

家具転倒防止支援事業の補助額をせめて一回1万円から3万円程度に引き上げるなど拡充するとともに、感震ブレーカーの設置補助をあらたに創設すること。

「一人の犠牲者も出さない」対策の中心的柱の一つとして、医療、介護、福祉のネットワーク構築を位置づけること。

2、子どもの貧困対策について

区として政府に対し、子どもの貧困削減の数値目標を持つとともに、給付型奨学金や児童扶養手当の改善など行うよう強く求め、

実現に向けた具体的働きかけを行うこと。

子どもの貧困対策を進める第一歩として、区内の子ども貧困の実態を出来る限り把握し、その削減のための計画を具体化すること。また、中卒後から18才に至る全ての子どもを把握し、その間の支援を拡充すること。

就学援助の基準を緩和し入学時の準備金なども前倒しで3月に支給する制度に改善すること。

学校給食無料化、教材教具の公費負担拡大などによる私費負担軽減が、子どもの貧困解決に有効であると考えるが区の見解を問う。

区として、全ての地域に中高生を含む子どもの居場所をつくる計画を策定するとともに、場所の確保も行うこと。

3、産業振興について

製造業、商業と統いた全事業所調査を全産業分野で速やかに行うとともに、小規模企業振興基本法の理念に基づく区としての産業政策を策定すること。

当面、区内の仕事おこし、消費喚起のため、住宅リフォーム助成を地域住民生活等緊急支援交付金も活用して実施すること。

区内の小零細事業者に工事、物品購入含めて発注するために、小規模工事等契約希望者登録制度を創設すること。

設計労務単価が引きあがったが、現場には及んでいない。速やかに公契約条例制定の検討を行うこと。

